

第12回日本総合歯科学会総会・学会大会の報告

井上 哲 (大会長)

川上 智史 (準備委員長)

飯田 俊二 (実行委員長)

第12回日本総合歯科学会総会・学会大会(井上 哲大会長, 川上智史準備委員長, 鳥井康弘理事長)は, 令和元年11月2日(土), 3日(日)の両日, 北海道歯科医師会館において, 「「令和」時代の総合歯科を考える」のテーマのもと, 学会史上初の2大学共同開催(北海道大学・北海道医療大学)にて行われました。

本大会には, 事前登録・当日参加合わせて230名が参加し, 特別講演2題, シンポジウム1題および口演・ポスター発表が計45題, 全てにおいて活発な討論が行われました。

大会1日目の特別講演1は, 小畑 真先生(小畑法律事務所)により, 「患者・スタッフトラブル予防のポイント」と題して行われました。小畑先生は, 日本では数少ない歯科医師と弁護士のダブルライセンスをお持ちの先生で, しかも歯科医師としての診療経験も豊富にお持ちです。歯科事情には精通されている弁護士ということから, 近年かなりの相談件数のようで, その小畑先生ならではの臨床家に大いに参考になる講演が行われました。

会場近辺には参加者の先生方が昼食をとれる場所が少ないため, 昼食時間には株式会社モリタの協賛によるランチョンセミナーが, 座長および講師を川上智史先生とし「近未来の在宅歯科訪問診療への招待」というテーマで行われました。近い将来, 在宅歯科訪問診療は必須の治療形態になるであろうと思われることから, 多数の参加者から高い関心を集めていました。

ランチョンセミナーの後, 総会が開催され, 関本恒夫先生, 俣木志朗先生の2名を名誉会員とすることが認められたので, 当日出席されていた関本先生に名誉会員証が鳥井理事長から授与されました。さらに, 各担当理事から事業報告や事業計画が説明され, 鳥井理事長から本学会の法人格取得スケジュールについての説明がなされました。

認定研修会としてのシンポジウムは, 川上智史準備委員長が座長の下, 「糖尿病と歯周病における多職種連携」をメインテーマとし, 辻昌宏先生(天使病院)による「厳格な血糖コントロールの意義とそのリスク」, 長澤敏行先生(北海道医療大)による「超高齢社会における糖尿病患者の歯周治療」, 吉野夕香先生(北海道医療大病院)による「糖尿病および歯周病患者をめぐる医科歯科連携とソーシャルワーク介入」という講演が行われました。3名の先生からのそれぞれの立場による糖尿病と歯科(特に歯周病)についてのホットな話題満載の講演のあと, 会場から多くの質問があり, 熱心な討論がなされました。



開会の挨拶をする
井上 哲大会長



特別講演1を行う小畑 真先生



名誉会員の表彰を受けた
関本恒夫先生



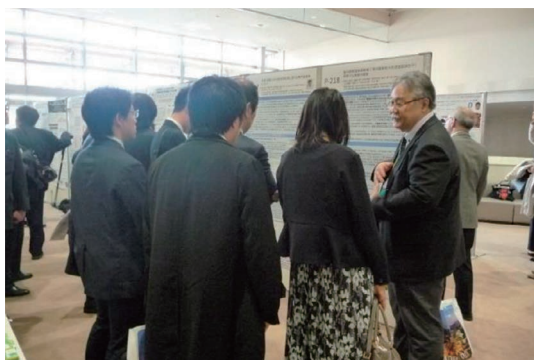
シンポジウムの様子



特別講演2を行う吉田靖弘先生

大会1日目の学術大会終了後に、場所をホテルニューオータニ札幌に移し、学会懇親会が開催されました。当日受付をされた会員数が予想以上に多く、180名を超える参加者を迎えて盛大な会になりました。

大会2日目には、井上 哲大会長を座長とし、吉田靖弘先生（北海道大学大学院歯学研究院）による特別講演2が「総合歯科が育む医療イノベーション」と題して行われました。臨床と基礎をしっかりと結び付けた開発研究の重要性について語られ、さらには、いかに日常臨床に即した内容で研究費を獲得するかなど、示唆に富んだ大変興味のある内容でした。



ポスター発表

閉会式では学会論文賞として岡 篤志先生（日本大学）、優秀口演賞として原さやか先生（新潟大学）、最優秀若手ポスター賞として金岡沙希先生（新潟大学）、優秀若手ポスター賞として掛村友起子先生（九州大学）、小海由佳先生（新潟大学）、矢部 淳先生（岡山大学病院）の3名がそれぞれ選出され、鳥井理事長から表彰状が渡されました。

本学術大会は、史上初の2大学共同開催ということや、諸般の事情で日程や会場変更を余儀なくされたことなど、運営面で皆様多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました。しかし、平成から令和への移行期での時代を先取りした口演、ポスター発表内容により、活発な討議が行われ、非常に充実した2日間となりました。また今回の学会には顧問の前沢政次先生（北海道大学名誉教授）にもお出でいただき、総合歯科が広く浸透することを期待させるものとなりました。

最後になりましたが、本学術大会を開催、遂行するにあたり、様々なご指導やご助言をいただきました鳥井康弘理事長をはじめ役員・理事の先生方、特別講演、シンポジウム、口演、ポスター発表の講師および座長を行っていただいた先生方、協賛をいただきました多数の企業、講座、同窓会、同門会などの皆様、そして大会にご参加いただいた会員・非会員の皆様に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。



優秀論文賞および優秀口演賞の表彰



最優秀若手ポスター賞および優秀ポスター賞の表彰